

EAST KANAGAWA

宝建設

設計事務所での勤務経験を持つ2代目社長が、
懇切丁寧なヒアリングで設計・デザインに取り組む。
内・外装の仕様や造作の水回りは、1軒ごとにオリジナル。
注文住宅ならではの満足感が提供されている

PROFILE

創業以来30年以上の間、住宅の新築、リフォームを中心に活動してきた。2代目社長の佐藤治正さんは1995年に会社に戻ってくるまでは、設計事務所に勤務し、住宅以外にも幅広い建築設計の経験がある。空間や造形の美しさを追求しながら、同時に耐久性や耐震性、断熱性などの機能面にも目を配る。所員もすべて設計者として、コンセプトに合わせたディテールを常に追求している。

DATA

社名／宝建設
代表／佐藤治正
住所／〒213-0033 川崎市宮前区宮崎150

☎ 044-877-3861
年間建築棟数／新築7棟
社員数／7名
平均坪単価／70万円
建築地域／首都圏(車で2時間以内)
設立／1972年
定休日／日曜日
アフターメンテナンスの対応
・引き渡し後、1か月後、1年後に無料点検を行う
・要望があれば随時、点検・補修を実施

代表のコメント

夢や将来のことなど、普段できないようなお話を私としてみませんか? そうしているうちにだんだんと、本当に求められたものが見えてくると思います。奥底から「大事なもの」を引き出すためなら、何度でも図面を書き直しますよ。



佐藤治正

1964年神奈川県生まれ。日本大学建築学科卒業後、設計事務所に勤務し、住宅のほか、商業施設や病院、校舎など幅広く建築設計に取り組む。「95年に宝建設に戻る。



玄関ホールから数段上がる階段へ。ガラス戸とガラスブロックで仕切りながらも、室内の空間をひと続きに。視線と光が抜け開放感を味わえる(右上・右下)ガルバリウム鋼板の屋根とラムダサイディングの外壁でシンプルにまとめられた外観

バラのテラスが彩る 「エレガントな空間」

子どもたちが独立し、ふたりだけの生活が始まった丁さん夫妻。長く住んだわが家だけど、これからの暮らしに向けて新しく建て替えた。そんな夫妻のパートナーに選ばれたのが、宝建設だった。

「とてもシンプルで気持ちのいいデザインの施工例が印象的でした」と妻は話す。設計力には自信のある佐藤治正社長が、要望を聞き取り、いくつものプランを提案していった。

「半年の間、5～6時間もの打ち合わせを何回も重ねていきました。柔軟にプランに手を入れてください。驚かされてばかりで楽しかったですね」と妻は振り返る。

ウッドデッキのテラスは室内とフラットに。大きな開口部を通じてリビングと一体であるかのようになります」と喜ぶ。

ゆったりとした玄関、大きな吹き抜けのある階段、明るく広々としたLDK。そして、大好きなバラと触れ合える、ゆとりあるテラス。夢に見ていた空間が次々と実現していく。

子どもたちが独立し、ふたりだけの生活が始まった丁さん夫妻。長く住んだわが家だけど、これからの暮らしに向けて新しく建て替えた。そんな夫妻のパートナーに選ばれたのが、宝建設だった。

「とてもシンプルで気持ちのいいデザインの施工例が印象的でした」と妻は話す。設計力には自信のある佐藤治正社長が、要望を聞き取り、いくつものプランを提案していった。

吹き抜け階段に広がる モダンスタイルの家

神奈川・川崎市 丁さんの家

家族構成／夫61歳 妻60歳
本体工事費／3000万円

家中を貫く吹き抜け階段。動線に沿って居住空間が展開されていく。木の床と白い壁・天井がすっきりと整理され、取り込まれた自然光を柔らかく受け止めている





✓CHECK! マテリアル

異素材を組み合わせてすっきりと
様々な種類の建物の設計を手掛けてきた佐藤さんには、豊富な設計手法の引き出しがある。T邸のリビング(上の写真)では、淡い色合いの桜の床材と白く塗装した壁・天井にガラスブロックなどの異素材を合わせ、すっきりとまとめた。室内に飾ったグリーンや小物類も美しく引き立てられている。



✓CHECK! 間構成

奥行きのある空間に

沿って間取りと動線が展開する
常に先の空間がイメージされ
床面積の数字よりも広い印象
「階段の設計は住まいのすべて
重要なポイントです」(佐藤
洗面室と浴室でも天窓から
いる。幅さと上部への広
さをもたらす工夫をこらして



愛犬コロンも家族の一員として、
この家の暮らしを満喫している。
妻のあとを追いかけて、広々
とした室内を自由に走り回る





南側のデッキテラスに向けて大きな開口部が確保された。室内の床とテラスとは段差なく行き来できる。テラスの草木が生活の一部に取り込まれることに



✓CHECK! 光の工夫

自然光と照明をバランスよく

2階の寝室では屋根の勾配をそのまま生かして、変化のある空間をつくり出した。自然光や間接照明によって様々な表情が浮かび上がる。「光の工夫によって空間は多様な眺めを生み出します。それを楽しむのは、住んだ人の特権。そんな楽しさが込められた住宅を提供したいと考えています」(佐藤さん)。

MY FAVORITE

金額かなって日当たりのいいガーデニングスペースを得た妻は、植物たちの手入れに余念がない。ハナミズキやエゴノキなどの間にブルーベリー、ジャスミン、バラなどの季節の草木が様々に配置されている。

「道路面から高くて、板塀もあるので、外部からの視線を気にせず、ここでゆっくり時間を過ごせます」と妻。リビングから外を見ているとつい静に触れたくなるのだという。

DATA

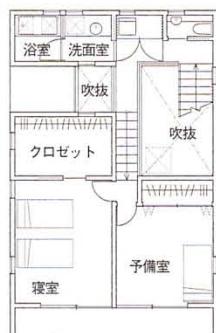
敷地面積／134.99m²(40.91坪)
延床面積／138.43m²(41.95坪)
1階／71.28m²(21.60坪)
2階／67.15m²(20.35坪)
用途地域／第1種低層住居専用地域
建ぺい率／60%
容積率／100%
構造／木造軸組工法
本体工事費／3000万円
竣工／2002年3月

INSTRUMENTS

キッチン／パナソニック電工
サッシ／トステム
照明器具／パナソニック電工(LD)

撮影／後藤徹雄
取材・文／渡辺圭彦

2F



0 90 180 270

1F

